

公表

## 事業所における自己評価総括表\_保育所等訪問支援

○事業所名	アートチャイルドケアSEDスクール札幌円山		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 15日		2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2025年 10月 15日		2025年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○訪問先施設評価実施期間	2025年 10月 15日		2025年 10月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2 (回答者数)	2
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の直接支援に関わっている職員だけではなく、それ以外の職員も含め、チームでカンファレンスを行い、支援の方向性等を相談しています。訪問先施設の職員とのコミュニケーションも大切に、共通理解のもと、保護者様への対応を行うようにしています。	訪問先施設と相談し、1人1人に合わせた必要な支援を内容、方法ともに柔軟に対応しています。日常生活動作、遊び、運動、社会性等あらゆる角度から、対象児の困り感を把握し、必要に応じて就学先や関係機関等へも繋げていけるように様々な支援を行っています。	お子様への直接支援だけでなく、訪問先施設への間接支援や保護者支援をさらに充実させて、バランスの良い訪問支援を強化していきたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児に合わせたアセスメント方法等の充実を図りたいです。	訪問支援員が変更したり、お子様や訪問先施設の状況によって支援の方法が異なったりするため、見立てに偏りが出てしまうこともあり、難しさを感じています。	直接支援に関わっている訪問支援員だけではなく、それ以外の多職種の職員も補佐員として複数配置をすることで、お子様を総合的に見立てられるように工夫したいです。
2	単独で保育所等訪問支援を利用されている方への、通所利用の促しもしていきたいです。	事業所と訪問先施設とのアクセス、距離感の問題や、スクールの土曜日受け入れが難しいことが多いなども、通所へのハードルを高くしているのではないかと思います。積極的な声掛け等もできていなかったので改善したいです。	訪問支援と通所のW利用のメリットや、スクールでできる支援について保護者様へイメージをもってもらえるようにお伝えし、まずは体験や見学に来ていただけるよう促していきたいです。